

躍動の兆しの見えてきた実践経営学会



実践経営学会会長
夏目重美

本年の全国大会は、前年度大会を繰延実施したばかりの慌ただしい日程を掻い潜り、高石光一大会委員長(亜細亜大学)の下、成功裏に終えることが出来ました。これもひとえに、会員の皆様の熱い研究意欲とご支援の賜物と感謝申し上げます。改革の実践は絵空事ではありません。一つ一つの現場を一步一步丁寧に改善する地道な努力の探求過程にこそ、改革の真の道筋が見えて来ます。

世界はコロナ禍を見据えつつ、多様性に基づく人権の尊重、AIの普及、SDGsの取組等、いずれも困難な新たな価値体系を模索する時代を迎えています。本学会は、こうした動向を肌身に感じつつ、「実践経営」の現場を力強く牽引し続けなければなりません。

来る年度の全国大会は、丹羽浩正実行委員長(八戸学院大学)の下、対面による大会を実施する予定となりました。幸い八戸市には、世界遺産に登録された「北海道・北東北縄文遺跡群」の中核の一つ、是川縄文遺跡群があります。単に歴史ロマンに浸るに止まらず、現在の矛盾を見つめ、未来を展望する人類史の深淵に触れることが出来ます。

また、本年は常任理事会の発案により新たなフォーラム態勢が整い、根岸裕孝代表(宮崎大学)の下、「実践経営と教育」に関する新企画が動き始めました。教育への貢献は、実践経営学会にとっての不可欠の課題であることは言うまでもありません。

実践経営学会は、コロナ禍を乗り越え、歴史の深淵と、教育による未来の開拓という、新たな躍動に向かって頼もしい脈動を始めました。一層のご指導とお力添えを切にお願いし、ご挨拶と致します。

学会運営体制の回復を目指す



実践経営学会副会長
田中敬一

2020年度は、コロナ禍のため約半年間の学会活動家を休止せざるを得なくなりました。会員皆様にとられては、十分な研究・調査活動もできず、また本学会自身も会員皆様の活動の支援においてはかなりの制約がございました。2022年度から、夏目会長の下、本学会の諸運営を「コロナ前」に引き戻し、より安定した年間スケジュールに戻していきたいと考えます。会員皆様の以前にも勝る活発な活動期待しております。

実践経営学会第64回全国大会開催を振り返り

第64回全国大会実行委員長 高石光一（亜細亜大学）

同大会事務局長 鈴木信幸（亜細亜大学）

実践経営学会第64回全国大会は、2021年9月11日（土）[常任理事会・理事会]と12日（日）[統一論題報告・自由論題報告・会員総会]の2日間、亜細亜大学（WEBリモートオンライン）にて開催致しました。今回は、現本学会会長の夏目重美先生からの強い要請のもと、大会開催までの準備期間、多くの会員の皆様にもご協力・鞭撻賜りまして、無事成功に至りました。大会参加者をはじめとする皆様には深く御礼申し上げます。

今回の大会統一論題は、「ニューノーマル時代の日本企業の生き残り策と実践経営」というテーマの下、外食産業の雄「すかいらーく」創業者・横川竟（みわむ）氏を基調講演にお招きました。残念ながら、新型コロナウイルス感染拡大影響の可能性もあり、前年度同様に対面実施ができず限られた制約内ではございましたが、自由論題報告者のみならず、多くの会員皆様からの活発な議論を通じて、良き大会とすることができました。ありがとうございました。

実践経営学会第65回全国大会（2022年）のお知らせ

第65回全国大会実行委員長
丹羽浩正（八戸学院大学）



皆様、こんにちは。本学会常任理事・東北支部長の丹羽浩正でございます。次年度（2022年）の第65回全国大会は、弊学八戸学院大学にて開催させていただきます。私は、本大会の実行委員長を務めさせていただきます。日程としては、2022年9月初旬の3日間を予定いたします。東北支部の開催は、東北大震災の影響もあり、前回の開催から10年以上の日時が開いてしまいました。今回は、「震災からの復興」と「コロナ禍からの立ち上がり」という2つの基本的観点からも、従来の対面式報告形式を予定し、「新しく復興しつつある」姿をお見せできるのではないかと考えております。今後、統一論題も含めた詳細な学会日程が決まりましたら、お知らせする次第です。また、エクスカージョン（学会の事前に行う半日現地視察・旅行）につきましては、世界的に有名な三内丸山遺跡も近くでございますが、時間の都合上、かなわなくともそれに匹敵する諸スポットを予定としてございます。自由論題報告者のみならず、多くの会員皆様のご参加を願っております。

機関誌『実践経営』第59号投稿論文(査読付き)募集

実践経営学会会長 夏 日 重 美

機関誌『実践経営』第59号への投稿論文(査読付き)を募集いたします。『実践経営学会 研究者倫理要綱』に基づき、以下の『応募・執筆要項』に従い、下記の投稿先へご応募ください。

なお、『実践経営』第59号掲載の査読論文の執筆要項として、

1. 投稿資格と提出論文の限定
2. 執筆の方法・文字数等
3. 表記の方法
4. 投稿の方法
5. その他、ご了解いただきたい関連事項、および
6. 投稿原稿の注意点がございます。

これらにつきましては、本学会ホームページに記載しております。投稿前にご確認ください。

(1) 投稿先

論文データを機関誌専用アドレス: jsam.headoffice3@gmail.com に送付。

機関誌専用メールアドレス: jsam.headoffice3@gmail.com (投稿論文の郵送は不要です。)

(2) 投稿締め切り日 2022年3月15日(火) 23:00

2021年度「フォーラム」(第1号)企画採択の知らせ

実践経営学会第54期第9回常任理事会(令和3年10月8日)におきまして、本学会九州支部長・根岸裕孝氏による企画提案が採択されました。

フォーラム企画名: **実践教育研究会**

なお、本会の趣旨・内容等につきましては、本学会ホームページに掲載する予定です。また、フォーラム活動の実施において、次の2点が合意されました。

- ① 会員のフォーラム発表者は、『実践経営』および本学会機関誌等に投稿する、もしくは全国大会もしくは支部会にて報告が可能であること。
- ② 非会員フォーラムで発表者は、『実践経営』および本学会機関誌等に投稿する、もしくは全国大会もしくは支部会にて報告をする場合に、入会をお勧めすること。

会員の皆様におきまして、本テーマに研究・調査上、関心・興味を持たれた方は、同フォーラムへの参加ご検討いただき、上記根岸氏(negishi@cc.miyazaki-u.ac.jp)までご連絡ください。参加メンバー資格は、所属支部の制限がございません。

以 上

2021年度(第53期)収支決算書 2020.4~2021.3.31

※(本計画につきましては、2021年9月2日「会員総会」において承認済みです)

収入の部

支出の部

勘定科目	実績A	予算B	予算比 A-B	勘定科目	実績A	予算B	予算比 A-B
前期繰越金	4,610,754		4,610,754	全国大会費	400,000	380,000	20,000
会費収入	3,430,000	3,200,000	① 230,000	支部研究発表会費	400,000		400,000
受取利息	144	1,000	△856	会報発行費	104,445	300,000	△195,555
雑収入	94,096	15,000	② 79,039	機関紙・論文集発行費	1,175,775	1,100,000	③ 75,775
				ホームページ維持費	347,600	180,000	167,600
				経営関連学会協議会分担金	30,000	30,000	0
				理事会費	0	80,000	④ △80,000
				事務局運営費	518,222	500,000	18,222
				旅費交通費(常任理事等)	0	250,000	⑤ △250,000
				通信費	21,420	165,000	⑥ △143,580
				消耗品費	0	50,000	△50,000
				学会賞費	0	40,000	⑦ △40,000
				理事選挙運営費	0	100,000	⑧ △100,000
				雑費	20,130	15,000	5,130
				予備費	0	0	0
				支出合計	3,017,592	3,190,000	△172,408
				次期繰越金	51,173,453	6,626,000	△1,508,655
収入合計	8,134,937	3,216,000	4,918,937	支出・繰越合計	8,134,937	9,816,000	△1,681,063

郵便振替口座	4,934,426	40周年記念奥野基金(定期預金)	1,650,003
三菱東京UFJ銀行(新丸の内)	181,599	次期繰越金	5,116,025
三菱東京UFJ銀行(定期預金)	1,650,003		
合計	6,766,028	合計	6,766,028

主な予算増減の内訳・説明


- ① 会員数を確保し、きめ細かく会員管理を行った。
- ② 機関紙の著作権料(学術著作権協会)からの収入増
- ③ 投稿論文が多かった、また発送作業を委託したため増加
- ④ コロナ禍によりオンラインによる理事会開催のため支出なし
- ⑤ コロナ禍により対面の常任理事会等が無く、オンライン開催のため支出無し
- ⑥ 会報発行や機関紙等発行の業者へ発送を依頼したため減少
- ⑦ 受賞の商品の支払いが54期になったため。
- ⑧ 選挙の実施なし

監査報告書

第53期収支決算書について、預金通帳その他の書類に基づいて監査した結果、収支の状況を適正に表示しているものと認めましたので、ご報告申し上げます。

2021年8月25日

監事

小池 慎介 

監事

松尾 敏行 

フォーラム(個別課題研究)募集のお知らせ

実践経営学会規約第28条の『個別課題研究会』に関しては、これまで『テーマ別研究会』と呼ばれるなど本学会で取り組まれてきました。今回は、『フォーラム』と称する個別課題研究会を募集します。

趣旨:

- 1) 従来の個別課題別研究会を発展させ、フォーラムを設置する。
- 2) 実践経営学会の特徴ある研究の活性化を図る。
- 3) テーマ別の研究を進めることで、会員間のコミュニケーションやモチベーション向上を図る。
- 4) フォーラムは、オンラインで開催するなどオープンな場として、会員以外の研究者、実務家、大学院生も参加可能として、実践経営学会を知っていただく機会とする。

実施手順:

フォーラムの企画を会長宛に申請していただき、常任理事会で審議する。

フォーラムの代表者と幹事を申請していただく。

フォーラムの構成員は、学会員とする。

フォーラム当日の参加は、会員以外の方も可能とする。

全国研究大会でフォーラムセッションを設けて、研究発表を行えるようにする。

予算:

原則として予算措置は行わない。必要な費用がある場合は、申請していただき、常任理事会で審議する。

※フォーラムの申請書類は、学会ホームページにございますのでダウンロードして、ご利用ください。

2021年入・退会者のお知らせ

(2021年10月30日現在)

入会者	ご所属	担当支部	承認日
馬 込 正	株式会社ハーモニーリンク	関東・甲信越	2021/1/22
久 保 良太郎	宮崎県立宮崎商業高等学校	九州	2021/6/10
高 田 真 也	早稲田大学	関東・甲信越	2021/5/19
包 月 英	名古屋経済大学	中部	2021/5/19
鎌 田 雅 子	日本経済大学	関東・甲信越	2021/8/28
ミルザイエフ・ムツザファール・マフムドヴィチ	名古屋経済大学	中部	2021/8/28

退会者

谷 保 範 家 弓 眞 明 金 生 郁 子 水 田 大 哉 藤 森 知 明
長 江 康 泰 西 原 昇 西 川 耕 平 宮 川 幸 司

実践経営学会事務局からのご連絡

■住所・勤務先などの変更届のお願い

住所や勤務先、メールアドレス等が変更となった会員の方は、
jsam.headoffice2@gmail.com (会員情報管理専用メールアドレス) までご連絡ください。

■第55期 会費納入のご案内

第55期の会費納入のご案内が皆様のお手元に届いていると思いますが、万が一お手元に届いていないという方がいらっしゃいましたら下記メールアドレスまでご一報ください。全国大会および各地域支部会における報告資格は、「年会費を納入済みの会員」となっております。ご注意ください。

お問い合わせは、jsam.headoffice2@gmail.comまで。

■各支部からのご連絡などは、学会ホームページをご覧ください

実践経営学会ホームページ (<http://www.jsam.org/>) では最新情報を随時掲載しております。各支部からの情報も、ホームページをご活用ください。また、ご登録いただくことにより、ニュースをメールで受け取る事ができますので是非ご利用ください。

以 上

実践経営学会

JAPAN SOCIETY FOR APPLIED MANAGEMENT

発行日：2021年11月15日

発行所：実践経営学会

発行者：会 長 夏目 重美

[本部・本部事務局] 〒140-0011 東京都品川区東大井1-10-40 東京都立産業技術大学院大学 板倉宏昭研究室内

制 作：(株) マインド